

学校関係者評価報告書
(令和5年度)

令和6年6月

学校法人 都築科学学園
関東柔道整復専門学校

令和5年度 学校関係者評価報告書

学校法人 都築科学学園
関東柔道整復専門学校
学校関係者評価委員会

学校法人 都築科学学園 関東柔道整復専門学校 学校関係者評価委員会は「令和5年度自己評価」の結果に基づいて学校関係者評価を実施したので、下記のとおり報告します。

1. 学校関係者評価委員

| 氏名 | 所属 | 選出区分 |
|--------|---------------------------|---------|
| 木村 浩吉 | 元 横浜 F・マリノス 監督 | 業界関係者 |
| 椎葉 一樹 | 第一学院高等学校 町田キャンパス キャンパス長 | 高等学校関係者 |
| 栗田 弘和 | 株式会社メディカルスポーツエージェント 代表取締役 | 企業関係者 |
| 飯塚 貴晃 | 吉祥寺サンタカ整骨院 院長 | 企業関係者 |
| 宇佐美 亮太 | 武蔵境みなみ接骨院 院長 | 卒業生 |

※委員長は木村浩吉氏が選出された。

2. 学校出席者

| 氏名 | 役職 |
|-------|-----------|
| 都築 稔 | 学校長 |
| 伊藤 尚司 | 校長代理・事務長 |
| 加藤 稔啓 | 学科長 |
| 小田 敏明 | 学科主任 |
| 諸井 祐典 | 事務次長 |
| 兵藤 宜昭 | 広報課長 |
| 及川 光洋 | 法人本部 総務課長 |
| 中野 史之 | 事務職員・書記係 |

3. 日時・場所

令和6年6月16日(日) 午前10時～11時35分

関東柔道整復専門学校 5F基礎医学実習室

4. 会議の概要

- ・学校長挨拶
- ・委員紹介、教職員紹介、委嘱状交付、委員長選出
- ・令和5年度自己評価について
- ・令和6年度運営計画について
- ・質疑応答、意見交換

5. 令和5年度自己評価における学校関係者評価

| 評価項目 | 平均値 | 学校関係者評価 |
|-------------------|-----|--|
| 1.教育理念 ・ 目標 | 2.8 | <p>○HPやSNSの充実度が上がり、学校が育成人材像と定めている『国家資格+スポーツ』で、日本のスポーツ・医療の業界で活躍する『スポーツトレーナーのスキルを持った柔道整復師』の人材育成のコンセプトがしっかりイメージできている。</p> <p>○スポーツには様々な知識を持った指導者が必要であるのと同時に、スポーツに怪我は付き物であるため『スポーツトレーナーのスキルを持った柔道整復師』の人材育成は、ニーズに対応した取組みを行っている」と評価する。</p> <p>○理念・目的を全教職員で共有することで目的が明確になり、言動の指針になると思われる。普段より『言語化』することで意識も高まり学校の雰囲気も変わると思われる。</p> <p>○保護者に対して周知・説明の機会があることで、保護者の学校に対しての信頼感が強まると感じる。引続き学生・保護者に対してホームルームリポート(学校通信)等を通じ情報発信を行い情報共有を図ると共に、教育活動等への理解・協力を得て信頼関係の構築に結び付けていただきたい。</p> |
| 2.学校運営 | 3.3 | <p>○目的等に沿った運営方針が策定され、それに沿った事業計画は適切に策定されており、HPにおいて情報公開が行われている。また、教育活動等に関する情報公開についても同じく適切に公開されていると認識している。</p> <p>○『情報システム化等による業務の効率化が図れているか』の自己評価が、昨年度『ほぼ適切』から今年度は『適切』に改善された。システム導入は学校全体で努力していると感じる。システムを全教職員で共有し、効率化がより進むことを期待したい。</p> <p>○システムを最大限に活用し、業務の効率化・迅速化を図ることで、教職員がより学生と向き合える時間が確保できるようになることを期待する。学生・保護者の満足度を高めていただきたい。</p> <p>○コンプライアンスに則った健全な運営ができていると思われる。</p> |

| 評価項目 | 平均値 | 学校関係者評価 |
|--------|-----|---|
| 3.教育活動 | 3.2 | <p>○教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等は策定されており、育成人材像や業界のニーズを踏まえた修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされていると認識している。</p> <p>○教育活動については様々な成果が見受けられる。特長を明確にし、計画を遂行することで成果に繋げていくことを期待する。</p> <p>○各業界におけるスペシャリストを講師陣に迎え、関連業界との連携を行っている。人材育成目標の達成に向け、授業を行うことができる要件を備えた教員の確保は、学生指導力の向上及び学生満足度の向上に繋がっていると思われる。</p> <p>○自身の学生時代とは違い入学者の年齢層も高校新卒者が大半を占めていることから、教育方法も変化・工夫が必要だと思われる。今までのやり方にとらわれず、今の学生に併せた教育方法で柔道整復師として将来活躍できるよう、また、柔道整復師業界が発展していけるよう教員は現状に満足することなく、常に向上心を持ち、継続的に指導力育成及び資質の向上に努めていただきたい。</p> |
| 4.学修成果 | 3.2 | <p>○柔道整復師国家資格取得は養成校として必須であり、合格に向けたサポートは今まで以上に様々な対策を講じて成果が得られるよう努力をお願いしたい。</p> <p>○丁寧なきめ細かい対応で着実に成果を上げていると感じる。学生一人ひとりに対するフォロー体制も構築されている。学内だけではなく卒業生や学外との連携について、今後の取組に大いに期待したい。</p> <p>○就職率100%はとても素晴らしいことで、就職率・資格取得率の向上、退学率の低減は学生支援体制が充実している証であり、学校の強みとなる。また、新入生の募集にも大きく関わってくるため、継続して取り組んでいただきたい。</p> <p>○就職の売り手市場はこれからも変わらず続いていくと思われる。卒業生の就職先企業と連携を図り、卒業後のキャリア形成への効果を把握して学校の教育活動に活用すると共に、学生のモチベーションアップに繋げていただきたい。</p> <p>○1年次から就職活動に対する意識を高めることはとても良いことだと思われる。就職率・国家試験合格率の高さ、退学率低減は素晴らしい成果となっているので、今後も継続していけるよう努力してほしい。</p> |

| 評価項目 | 平均値 | 学校関係者評価 |
|---------|------|---|
| 5. 学生支援 | 2. 7 | <p>○学生支援に関する体制は、各担任を中心に複数回実施される個別面談を通じ、学生の修学環境等の状況を把握するなど、きめ細かいサポートを行っている様子が伺える。必要な支援を必要なタイミングで行うことで、学生や保護者の満足度が高まると考えられる。</p> <p>○外部スクールカウンセリングは学生だけでなく保護者も対象となっているとの事で、相談窓口・対象者の拡大は有効な対策だと思われる。スクールカウンセラーの役割は大きいと考えられるため、学校は情報共有をしっかりと行い学生支援に役立ててほしい。</p> <p>○接骨院での研修を兼ねたアルバイトを通じ、患者さんとのコミュニケーションの取り方など現場力の向上に繋がり、学びのプラスとなっていることが学校の魅力と感じる。また、求人情報は校内掲示板及びHPでも最新版をアップしているようだが、定期的に学生・卒業生に対し閲覧方法の周知を図ることで、より効果的な活用ができると考えられる。合同企業説明会では卒業生が就職した企業をメインに招致し、卒業生が来校して実際の働き方などを説明していることから、学生が企業を選ぶ際の参考となり、就職に対する意識が高まり就職率の向上に繋がっていると思われる。</p> <p>○コロナ過において校友会活動が停滞していたことから、再始動に関して卒業生に周知し、校友会活動の活性化を図っていただきたい。卒業生の中には様々な分野で活躍されている方も多くいると思うので、そのような卒業生による講習会・勉強会を企画し、卒業生同士の交流の場とするのみならず、在校生とも繋がれる場として校友会のさらなる発展を期待したい。また転職率の高い業界の為、卒業生に対しHPの求人情報閲覧方法の周知徹底を行う事は、再就職支援となり学校との関係構築に繋がるのではと感じた。</p> |
| 6. 教育環境 | 2. 8 | <p>○定員に応じた施設・設備・教材が概ね整っていると思われるが、経年劣化による施設のメンテナンス及び設備の定期的な更新は随時対応を検討していただきたい。学生ファーストはもちろんであるが、予算の関係もあると思われるので、計画的な整備を望む。</p> <p>○学生が安全で安心して過ごせる環境づくりは最も重要。優先順位を決めて修学環境の整備を進めていただきたい。</p> <p>○防災に対する体制の整備は、定期的に点検を行い安全管理に努め準備しておくと同時に、学生に対して防災教育等を周知徹底して行い、万が一の時に備えておかなければならない。</p> |

| 評価項目 | 平均値 | 学校関係者評価 |
|----------------------|-----|---|
| 7.学生の 受入募集 | 2.8 | <p>○学生募集は『発信力』と『情報収集力』が重要だと思われる。特に学校の特長や魅力が単純明快に発信できるかは重要なポイントと思われるので、様々なコンテンツを活用して学生募集に尽力していただきたい。</p> <p>○学校情報や教育成果は、HPやSNSによる情報発信を積極的に活用しており、とても工夫して発信している様子が伝わり非常に好感が持てる。SNSの種類も移り変わりが速く、様々な媒体をうまく活用して学生募集に繋げていただきたい。</p> <p>○卒業生や在校生が入学者を紹介してくれる学校作りも大切。校友会活動の活性化によるシステム作りを期待する。</p> <p>○オープンキャンパスなどの募集イベントに、業界で活躍する卒業生を招いて、参加者や保護者に対し卒業後の現状を伝えることで具体的な将来像がイメージできるのは良いアプローチとなるのではないか。出願率が向上する魅力あるイベントとなるよう改善策の検討が必要だと思われる。</p> |
| 8.財務 | 3.3 | <p>○財務情報についてはHPで公開されていることが確認でき、負債はなく経理努力の成果がみられ、健全な学校運営を行っている」と評価する。</p> <p>○財務は内部努力と外部折衝力が重要。微差が大差となると思われるので、小さなことを疎かにせず即時相互指摘ができる環境作りを進めていただきたい。</p> <p>○学生サービスに影響するコスト削減や人件費抑制とならないようしていただきたい。入学者を増やし増収による財務基盤の安定を目指し、教職員全体で改善に取り組んでいただきたい。</p> |
| 9.法令等の 遵守 | 3.5 | <p>○自己評価及び学校関係者評価を実施し、HPで公開している。引続き問題改善に向けて教職員全体で改善策の検討を行うことが必要だと思われる。</p> <p>○個人情報についてはセキュリティー面を考慮し、クラウド管理システムへの一元化を提案する。</p> |
| 10.社会貢献 ・ 地域貢献 | 2.7 | <p>○新型コロナも落ち着いてきたことから、地域と連動したボランティア活動等で身に付けたスキルを実践していただきたい。</p> <p>○立川市との取り組みは高く評価できる。地域との連携や貢献は『先方の困りごとを一緒に解決する事』を目的とすることで、できることとできないことが明確になり取り組みやすくなると思われる。</p> <p>○立川シティハーフマラソンの医療救護班の一員としてボランティア活動に来た学生と一緒に活動したことがあり、良い経験となったと感じるので、活動機会を増やし色々経験を積んでほしい。</p> |

6. 令和6年度における運営計画

【学校の方向性】

『国家資格＋スポーツ』で、日本のスポーツ・医療の業界で活躍する人材、
『スポーツトレーナーのスキルを持った柔道整復師』
をコンセプトに養成する。

【運営方針】

- ① 『国家資格＋スポーツ』で学生の学ぶ領域の拡大
 - ・スポーツトレーナー養成コースのカリキュラムを選択で導入
- ② 都築学園のグループ連携で強みを活かす
 - ・日本薬科大学への編入学制度のシステム確立
 - ・学ぶ分野の拡大・変更・Wスクール・転校転科約30校
 - ・就職先の拡大と業界からの支援
- ③ 広報力・教育力強化の為の取り組み
 - 《教育力》
 - ・コミュニケーションの重要性(年6回の定期面談)
 - ・カウンセリングシステムの活用
 - ・オンライン活用の工夫
 - ・学力支援・補習授業実施
 - 《広報力》
 - ・直接部活動訪問による高等学校教員との関係強化
 - ・地域プロチームとの高校訪問実施
 - ・大学と連携した広報活動
 - ・募集地域のエリア拡大

7. 総評

上記10項目に対し、評価委員による平均評価は3.0(4段階評価)であったことから、関東柔道整復専門学校学生の支援、教育環境、学生の受入募集などでいくつかの課題はあるものの、概ね適切に学校運営はなされていると認識する。

評価委員からは、就職率100%の連続達成、国家試験合格率の向上、退学率の低減に対して努力の成果が評価された。また、HPやSNSによる学校情報を積極的に発信し、学生募集を行ってはいるものの、定員充足を満たしていない厳しい募集状況の改善については、学生目線で情報発信を行うなど新たな工夫をしながら問題解決に向け早急に取り組むよう指摘があった。

また、アフターコロナとなった今、時代に即した実践的な教育環境の整備、教員の指導力・教育の質の向上、在校生・保護者・卒業生・地域コミュニティとのさらなる連携強化に努め、一連の活動を通じた学校知名度向上により、学生募集活動へ一層の努力を望む意見が提出された。

自己評価結果及び学校関係者評価結果の改善意見を踏まえて、更なる学校運営の充実を図ることとする。

以上